

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立元麻布保育園						
指定管理者	芳美会・おれんじハウス保育園共同事業体						
指定期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 17 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	麻布地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	53	53	0	25	4	21	3	81
		令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		備考
正規・非正規職員の退職者数		17						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
定員	185					
一時保育	1,624					緊急一時保育含む(8人)
休日保育	529					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
経費実績	収入	435,354,755	0	0	0	0	
	指定管理料(清算後)	435,354,755					
	利用料金収入	0					
	その他収入	0					
	支出	435,730,696	0	0	0	0	
	職員人件費	317,983,708					
	光熱水費	12,715,028					
	修繕費	2,268,773					
	事業運営費	38,835,623					
	施設管理経費	9,331,564					
その他経費	54,596,000						
差引収支額	-375,941	0	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	515,948,521						

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価			
			評価	加算	点数	
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						72 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	<p>前指定管理者からの引継ぎを経て、当法人による運営初年度となる令和7年度は、「いきいき」の保育理念のもと、こども中心の保育方針に基づき、安全・安心な保育の提供に取り組まれました。保護者や地域からの関心が寄せられる中でのスタートとなりましたが、大きな事故等もなく、安定した園運営につなげることができました。保育においては、子どもの主体性を大切にしながら、遊び・生活・探究活動を通して、一人ひとりが思いや興味を表現できるよう支援してまいりました。また、医療的ケア児や障害のある子どもを含め、互いの違いを認め合いながら育ち合うインクルーシブ保育にも取り組んできたところです。</p> <p>しかし、全職員への法人理念の浸透が十分でない状況に加え、保育の質の充実という面においても課題が見られました。また、前年度は園外研修への参加機会が作れなかったため、次年度は職員の保育の質向上に向けた体制についても今後の課題と認識しています。</p> <p>今後は、職層に応じた研修等への職員が積極的に参加するとともに、日々の保育の質の向上につながるよう、法人としてサポートしていきます。</p>
区（施設所管課）による評価	<p>令和7年度は現法人による運営初年度として、大きな事故無く運営することができました。しかし日々の運営においては、区立保育園の指定管理者としての知識不足をはじめとする調整や指導の場面が多く、様々な課題があります。1点目は保育の質の充実、2点目は指定管理料の運用についてです。いずれも区立保育園としてのルールや規定を遵守し、区の方針に則った運用の徹底を求めるとともに、より一層区民から信頼される園運営となるよう引き続き指導してまいります。</p>

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）